

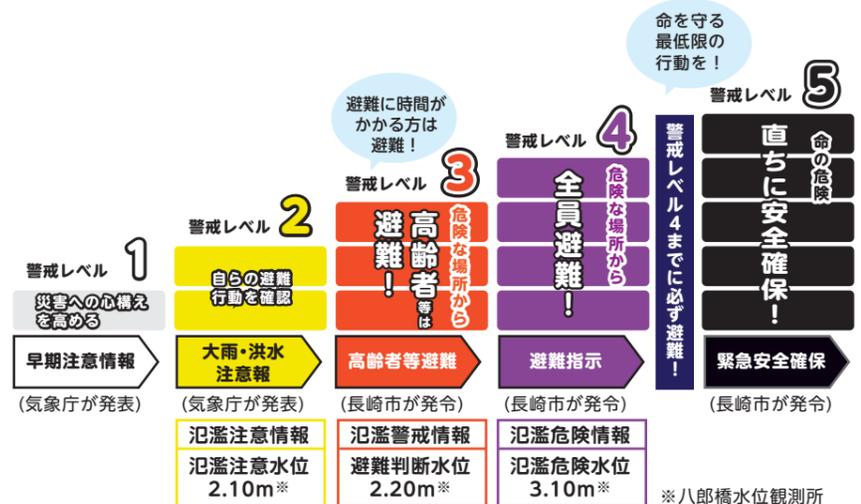
水害時の避難行動

大雨のとき
どこに
逃げる？

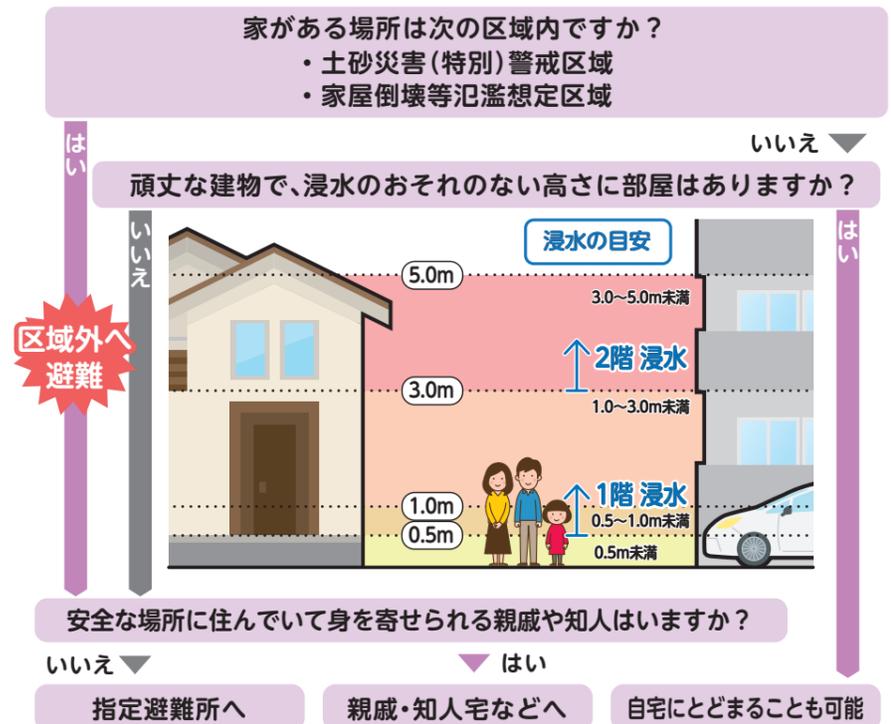
避難に対する基本的な考え方

- ・避難とは、難を避けることです。安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。
- ・危険な場所からは【警戒レベル3で高齢者等は避難】【警戒レベル4で全員避難】です。
- ・高齢者等※1避難に時間がかかる方は、警戒レベル3で危険な場所から避難しましょう。
- ・警戒レベル5※2は、すでに災害が発生・切迫しており、安全な避難ができず、命が危険な状況です。
- ・避難先は小中学校、公民館ではありません。安全な親戚・知人宅や自宅の2階以上に避難することも考えましょう。

※1 在宅又は施設利用の高齢者及び障害のある方、妊婦、乳幼児がいるご家族など及びその人の避難を支援する方
 ※2 災害状況は確実に把握できるものではないことから、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。



避難フロー図



周り比べて低い土地やがけのそばなどにお住まいの方は、必要に応じて避難してください。
 ※土砂災害の危険があっても、十分頑丈なマンションなどの上層階に住んでいる場合は、自宅にとどまり、安全確保することも可能です。
 ※浸水時間が長い場合は、家から外に出られなくなったり、ライフラインが使えず衛生環境が悪化したりするなど、生活に支障がでてくる場合があります。

避難のポイント

安全性と
情報の確保が
ポイント!

安全に避難するために

- 1 避難の際は、周囲に声かけをしましょう。**
 家族や近所の人など、身近な人からの声かけによって助かった事例があります。できる限り周りに声をかけてから避難しましょう。また、高齢者等が早めに避難できるよう声かけしましょう。
- 2 感染予防対策もしましょう。**
 食料・飲料水など生活に必要な物に加え、マスク・消毒・体温計など感染症予防に必要な物も持参してください。
- 3 避難所などの情報は、事前に入手しましょう。**
 開設する避難所は、市ホームページや避難所の開設・混雑状況を確認できるバカンマップス(P1参照)で確認しましょう。
- 4 避難する際は、周囲の状況をしっかり確認しましょう。**
 大雨や強風時に屋外を移動することは車も含めて危険です。避難する際は、周囲の状況などを十分に確認してください。



情報の入手

避難の際は、事前に情報を収集しておくことが必要です。市役所や消防、警察、メディアなどから流れる正しい情報を入手し、デマに惑わされないようにしましょう。

